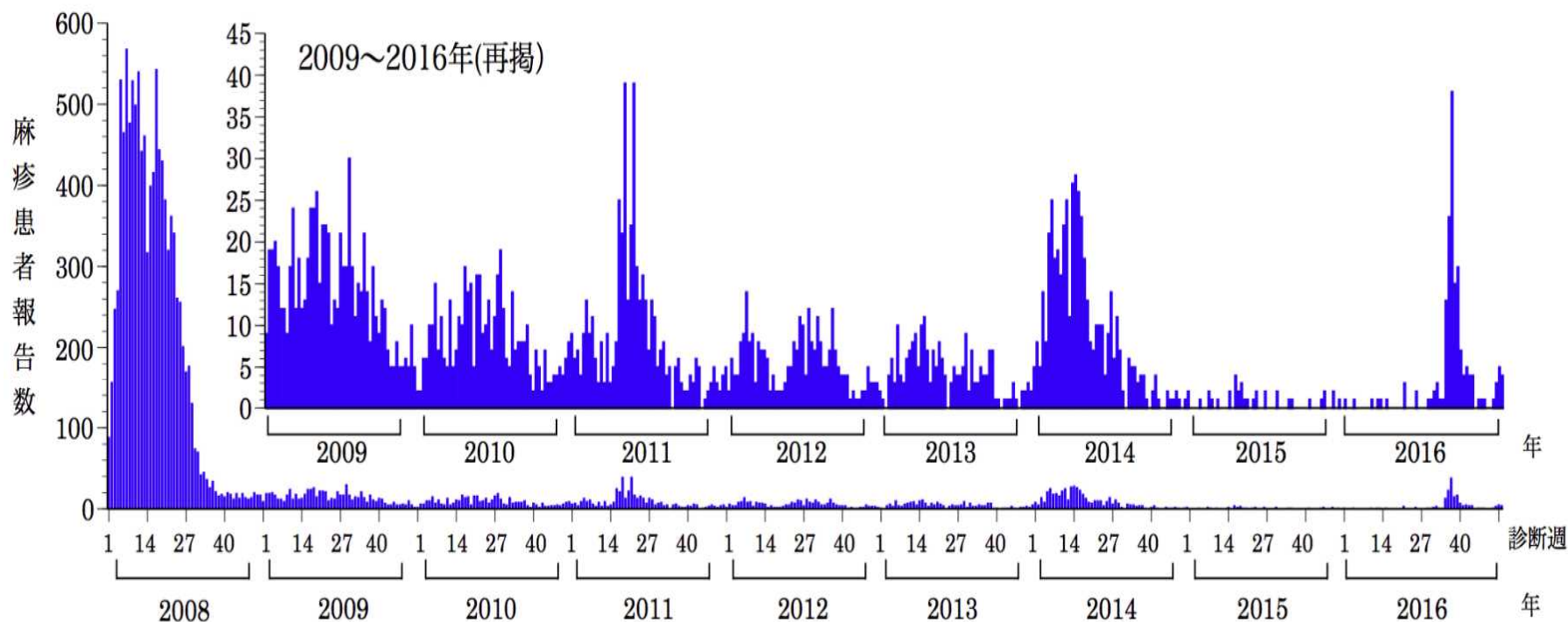


麻疹・風疹の発生状況について

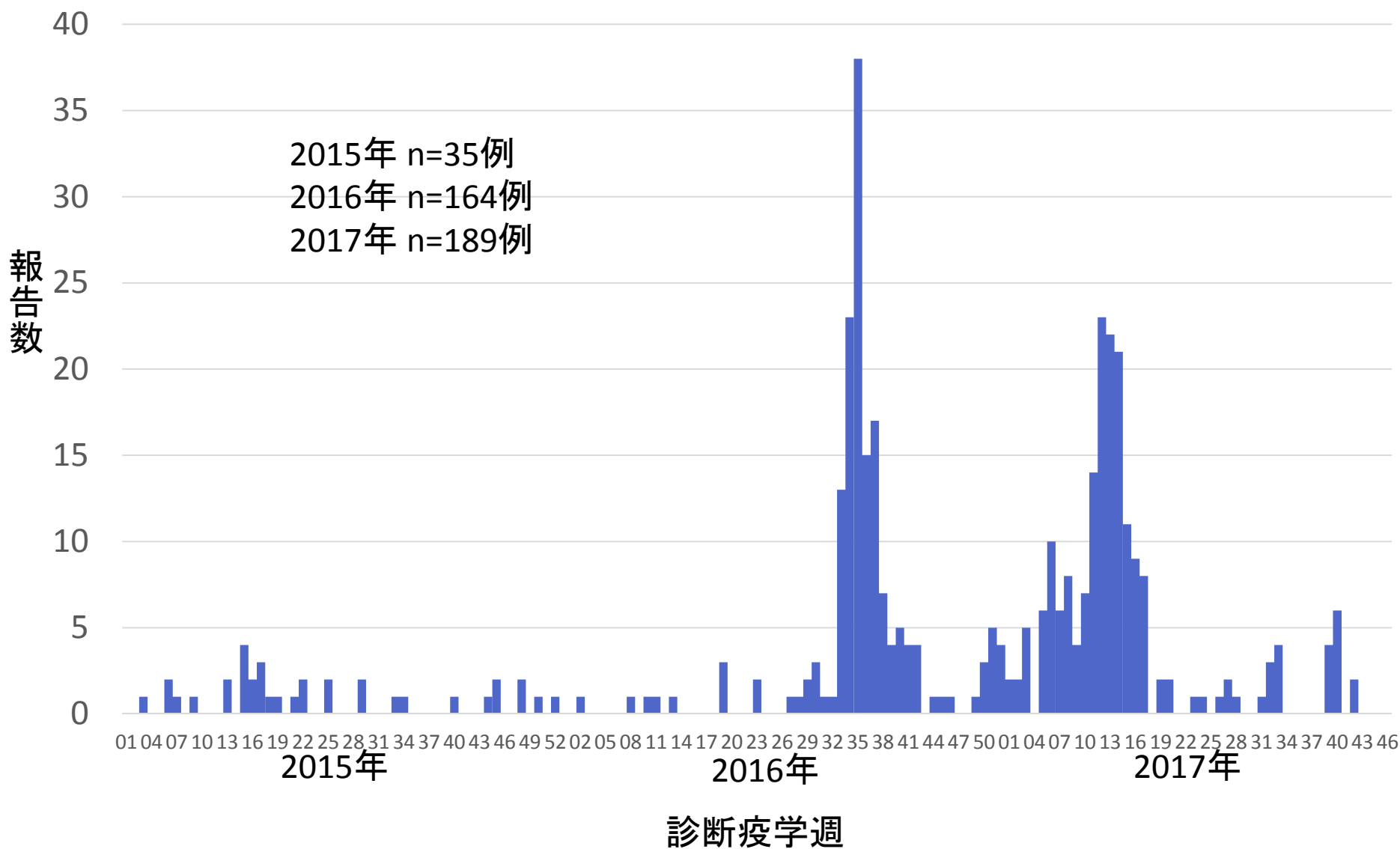
国立感染症研究所
感染症疫学センター

麻疹患者の週別報告数、2008～2016年

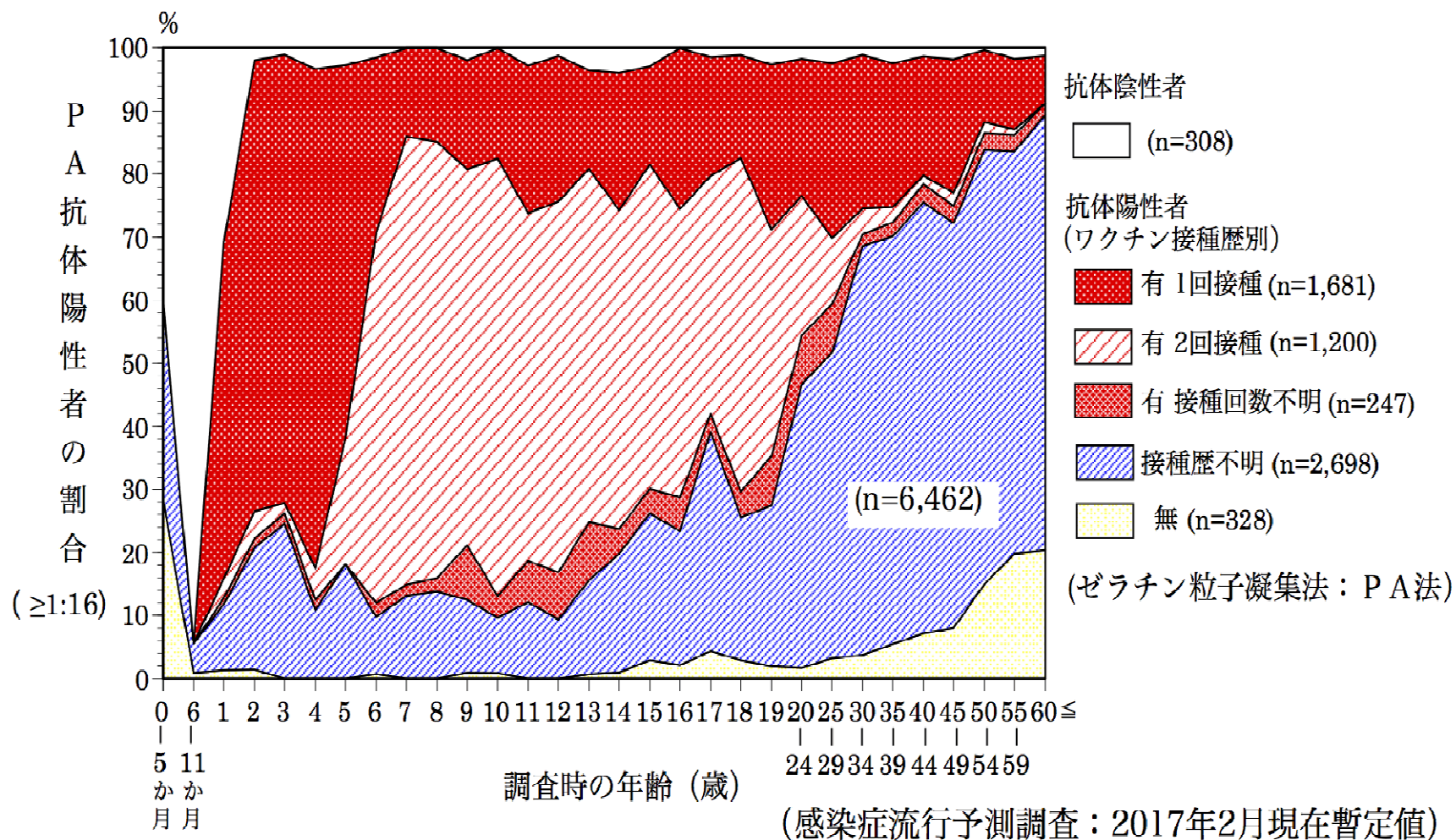


(感染症発生動向調査：2017年2月1日現在報告数)

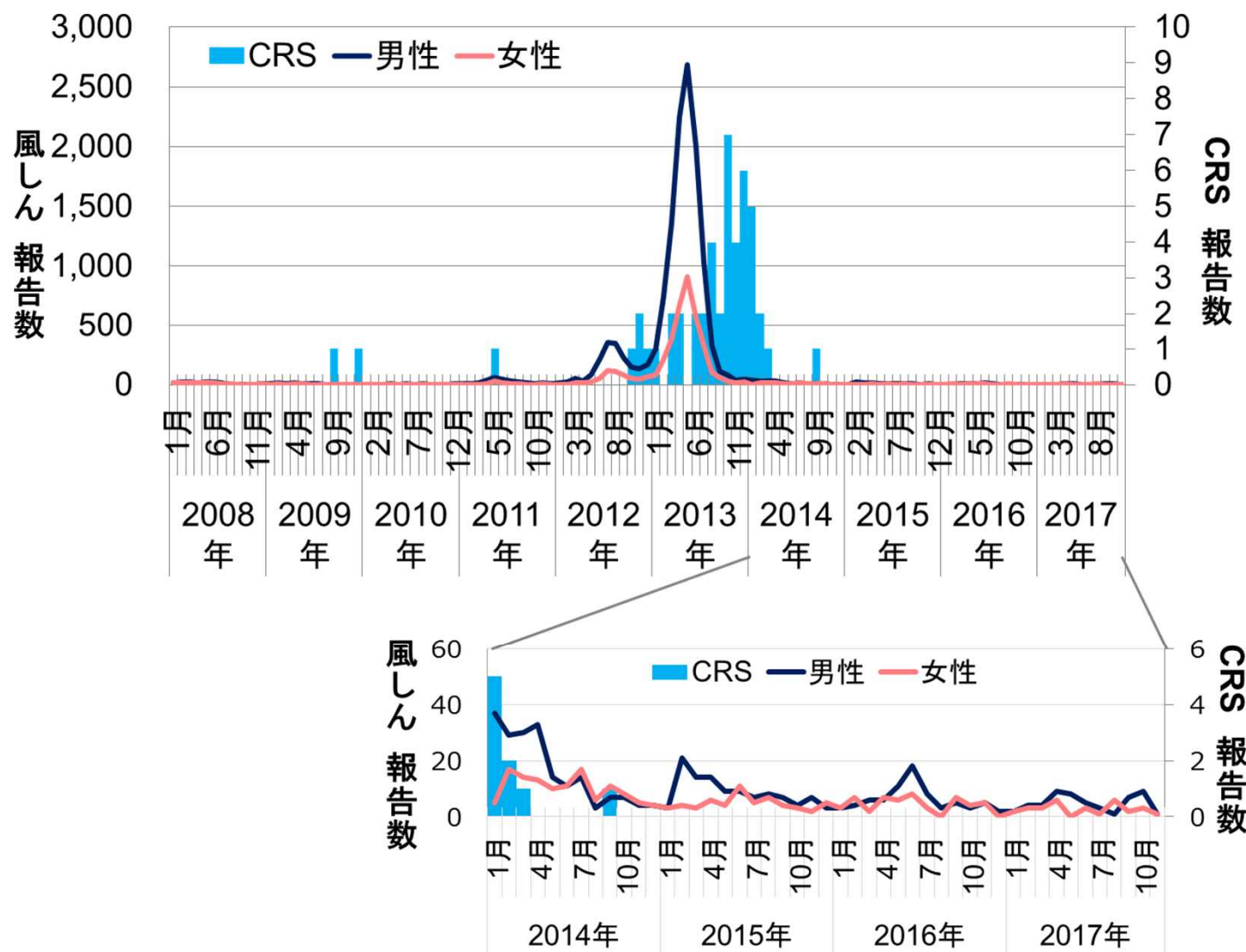
全国から報告された麻しん患者の流行曲線 (n=388、2015年第1週～2017年第46週)



年齢別麻疹抗体保有状況、2016年度

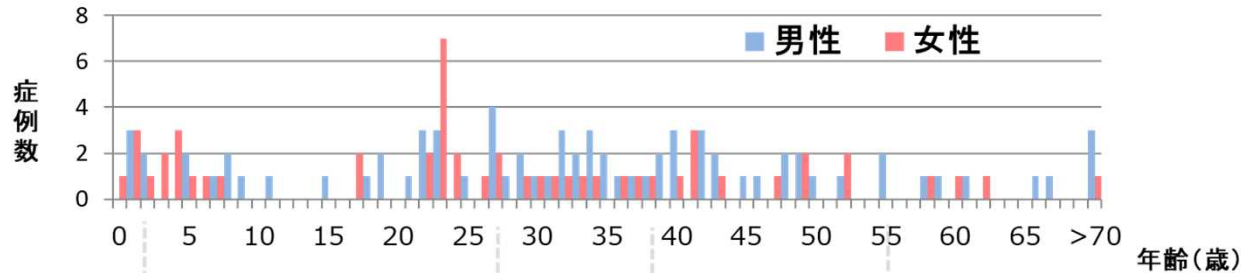


2008年～2017年の性別ごと風しん報告数およびCRS報告数

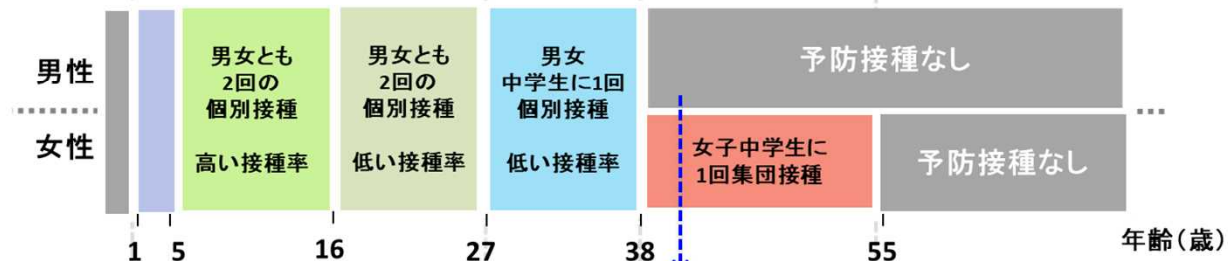


2016年の性・年齢別風しん報告数、 予防接種制度の変遷、および抗体保有状況の関連

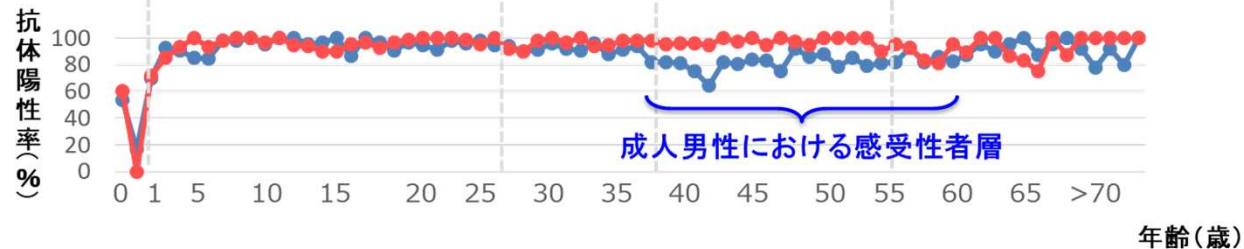
2016年の報告症例数 (n=126)



2016年における年齢と予防接種制度

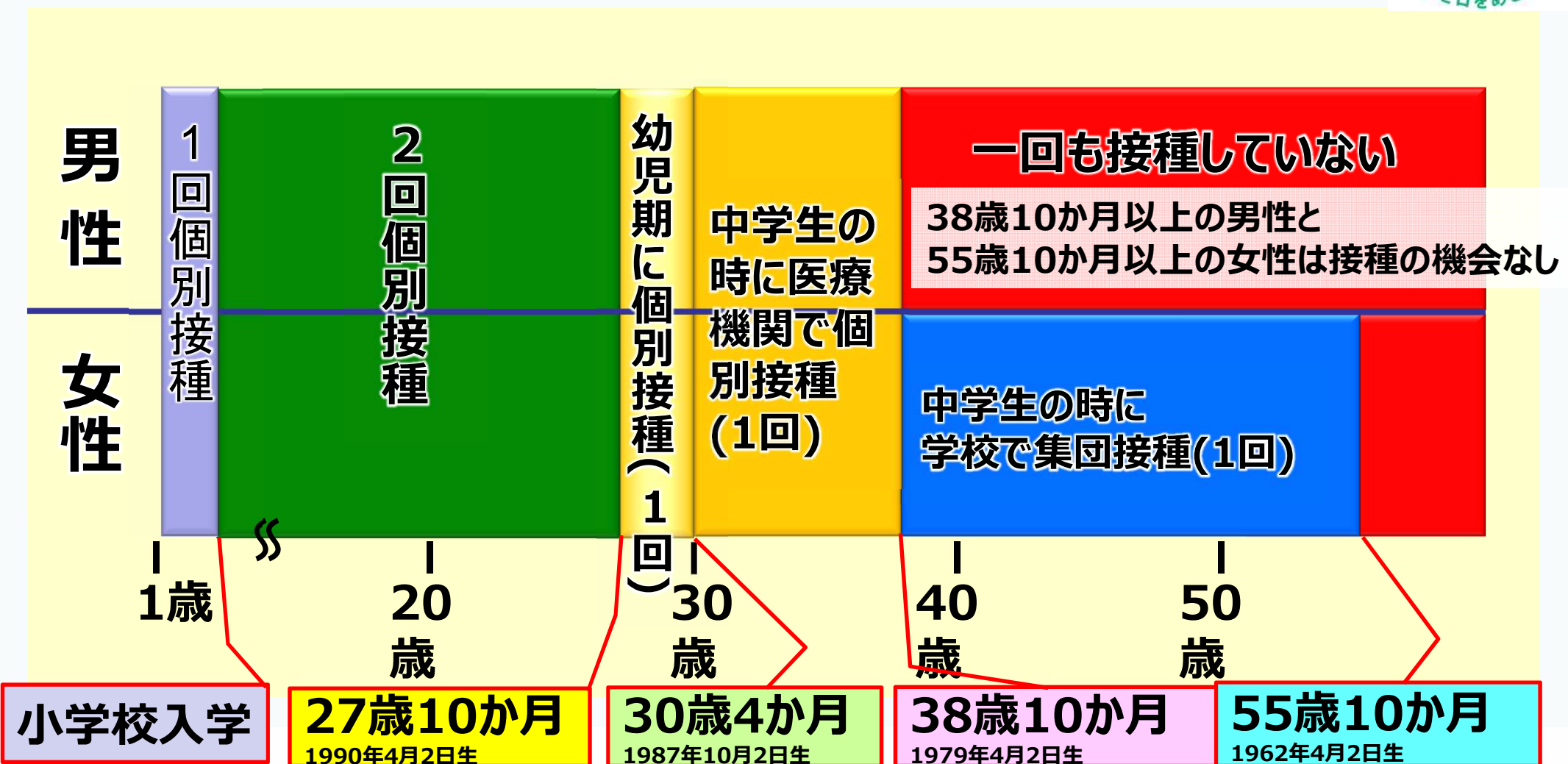


2016年の抗体保有状況

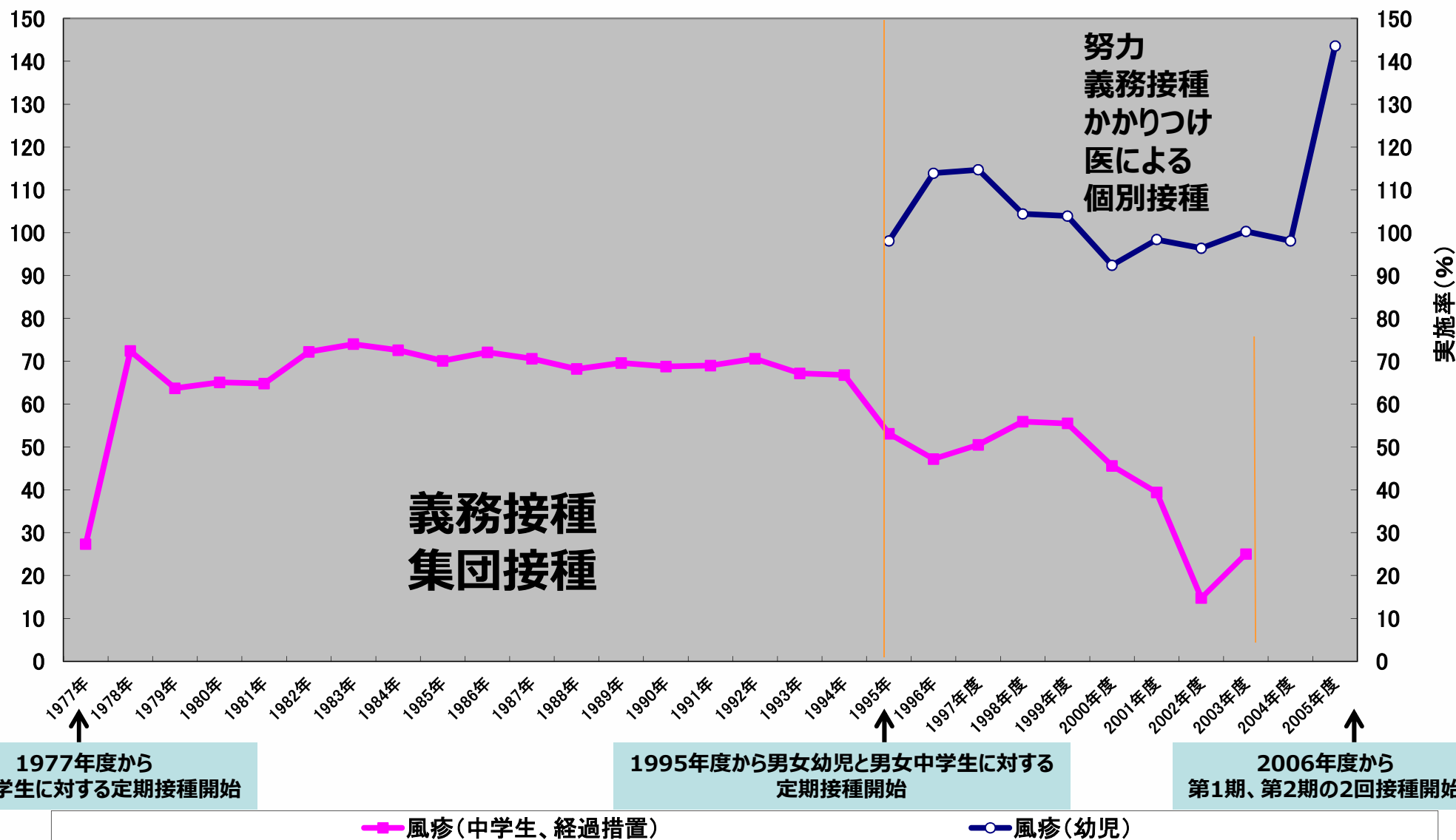




風疹含有ワクチンの定期予防接種制度と年齢の関係 (平成30 (2018) 年2月1日時点)



風疹含有ワクチン実施率の推移

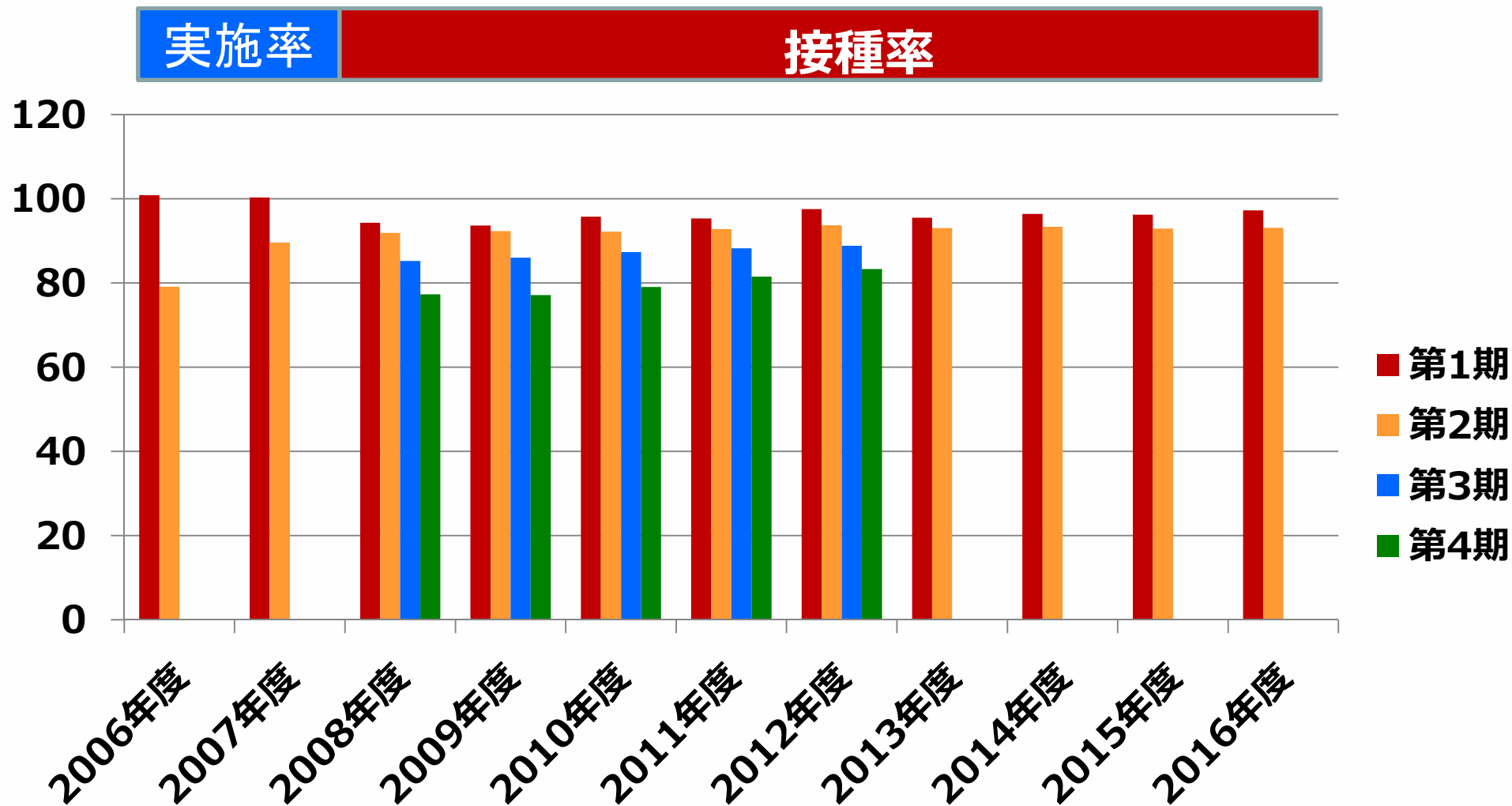




風疹含有ワクチン接種率の推移

(厚生労働省、国立感染症研究所感染症疫学センター調査)

風疹含有ワクチン実施率・接種率(%)



年齢/年齢群別風疹抗体保有状況、2006年度と2016年度の比較 感染症流行予測調査事業より



年齢/年齢群別の風疹抗体保有状況, 2006年※1
～ 2006年度感染症流行予測調査より ～

※1 主に2006年7～9月に採取された血清の測定結果

年齢/年齢群別の風疹抗体保有状況, 2016年※1
～ 2016年度感染症流行予測調査より ～

※1 主に2016年7～9月に採取された血清の測定結果：2017年3月現在暫定値

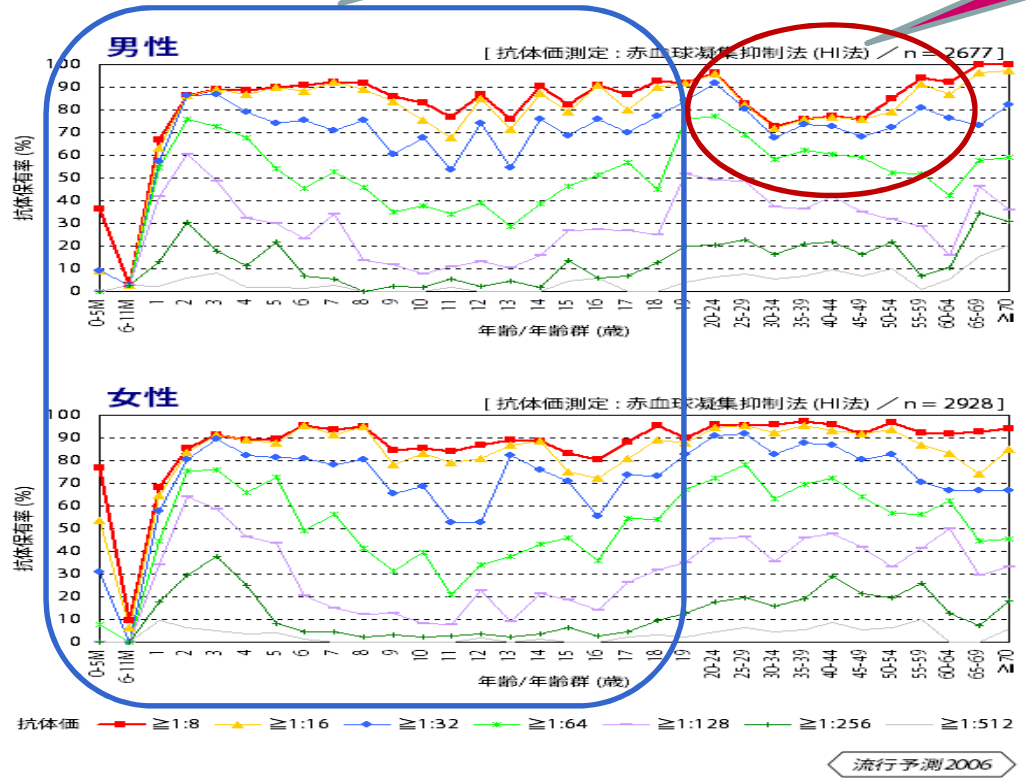
2006年度

2～19歳の
感受性者減少

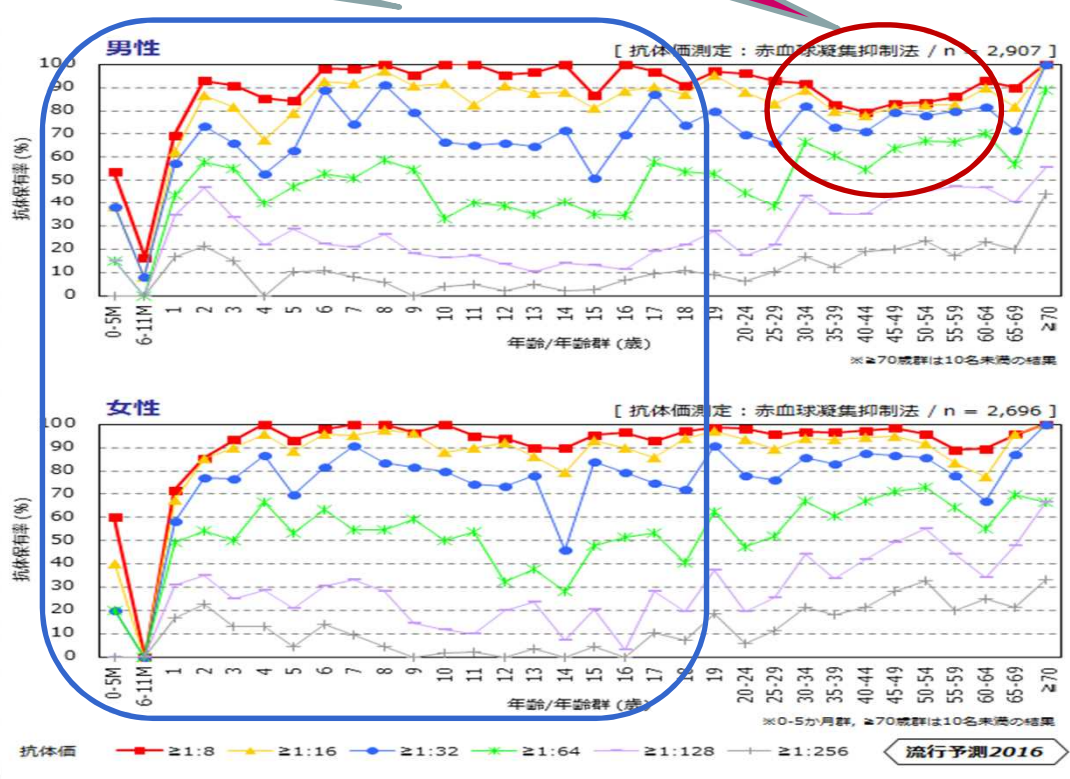
10年

20代後半～50代前半の男性の感受性者は30代後半～50代に残存

2016年度



【2006年度風疹感受性調査実施都道府県】
宮城県、山形県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、新潟県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、三重県、山口県、高知県、福岡県、沖縄県



【2016年度風疹感受性調査実施都道府県】
北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、長野県、愛知県、三重県、山口県、高知県、福岡県、沖縄県

29～55歳の男女風疹抗体保有状況 (HI抗体価 $\geq 1:8$) 2007～2016年度の年度推移 (感染症流行予測調査事業より)

2017年度に29～38歳
1979～89年度生まれの女性
(n=557～752)

2017年度に39～55歳
1962～78年度生まれの女性
(n=590～842)

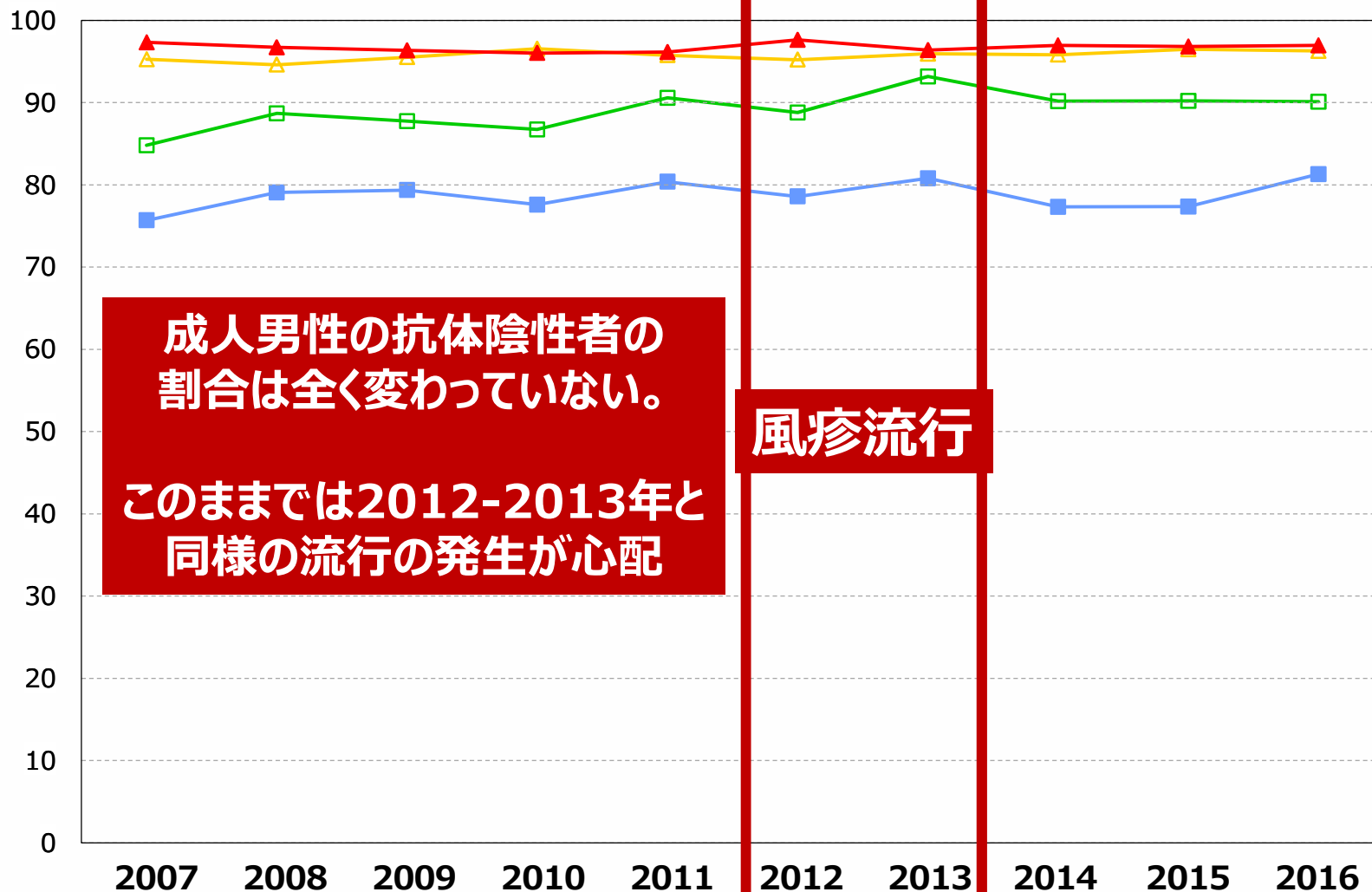
2017年度に29～38歳
1979～89年度生まれの男性
(n=375～616)

2017年度に39～55歳
1962～78年度生まれの男性
(n=537～728)

1979～89年度生まれ
(調査時 26～37歳)
幼児・中学生で 1 回

1962～78年度生まれ
(調査時 37～54歳)
中学生女子のみ 1 回

HI
抗体
保有率
(%)



成人男性の抗体陰性者の
割合は全く変わっていない。

このままでは2012-2013年と
同様の流行の発生が心配

風疹流行

推定感染地域別風疹患者報告数
2017年第1~52週 (n=93)

(感染症発生動向調査より)

